

計画の名称	加西市における下水道施設の安心・安全まちづくり（３）（防災・安全）												
計画の期間	令和０４年度　～　令和０８年度　（５年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	加西市												
計画の目標	計画的に老朽施設の改築を進めることで都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、さらに下水道施設建設により浸水被害を解消し水害に強いまちづくりをすることを目指すものである。												
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	700	A	700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R4当初)	(R6末)	(R8末)
1	加西市内の都市浸水対策が必要な区域のうち、下水道整備により7年確率降雨に対して内水浸水被害が防止できる割合（都市浸水対策達成率）を、65%（R4当初）から66%（R8）に上昇させる。 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して浸水対策が完了している区域の面積の割合 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対し対策済み区域の面積(ha)／都市浸水対策を対策すべき区域の面積(ha)×100			
		65%	65%	66%
2	整備計画期間内において、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査により下水道管路の劣化状況を把握し効率的に対策を進める管渠延長の割合を、0%（R4当初）から100%（R8）に上昇させる。 ストックマネジメント計画に基づく点検・調査により効率的に対策を進める管渠延長の割合 点検・調査完了延長(m)／R4～R8の点検・調査計画延長(m)×100			
		0%	59%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果										R04	R05	R06	R07	R08			
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	加西市	直接	加西市	管渠（ 雨水）	新設	中野地区浸水対策	雨水U300×300～□1500×150 0	加西市	■	■	■	■	■	250		－
	A07-002	下水道	一般	加西市	直接	加西市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント事業	A=1739.9ha	加西市	■	■	■	■	■	370		－
											小計						620		
水道・下水道事業	A07-003	下水道	一般	加西市	直接	加西市	管渠（ 雨水）	－	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水浸水想定区域図作成 雨 水管理方針策定業務	加西市			■	■	■	80		－
											小計						80		
											合計						700		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06	R07	
配分額 (a)	85	13	35	7	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	85	13	35	7	
前年度からの繰越額 (d)	0	65	7	32	
支払済額 (e)	20	71	10	36	
翌年度繰越額 (f)	65	7	32	3	
うち未契約繰越額(g)	0	7	4	3	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	8.97	9.52	7.69	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 加西市における下水道施設の安心・安全まちづくり（３）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 １）上位計画（総合計画・生活排水処理計画・都市計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 １）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 １）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性等 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性等 ２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 ２）関係する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○